校長室だより（３２）　H31(2019).2.13.水

熊商の日々の教育活動　～　志高く、恕と信頼の人づくり　～

熊本県立熊本商業高等学校　校長　　郷　慶次

◆新年早々の検定週間、生徒全員が頑張りました。





２月３日（日）、公益財団法人全国商業高等学校協会（「全商」）が主催する検定試験の中で今年度最後となる商業経済検定試験が全国一斉に実施されました。熊商では全商主催の８つの検定試験のうち、「ビジネスコミュニケーション」を除く「珠算・電卓」「簿記実務」「ビジネス文書」「英語」「情報処理」「商業経済」「会計実務」の７つの検定試験を受験しています。

１月後半から２月にかけて情報処理、簿記実務、商業経済の検定試験が３週連続で実施され、全校生徒が合格を目指して毎日真剣に学習し、先生方は熱心に指導されていました。また、実用英語技能検定試験の第１次試験にも例年以上の受験者がありました。皆さんの意欲と努力により良い結果が出るよう祈っています。

また、今月は全経簿記検定、日商簿記検定も実施されます。上の級になるほど合格することが難しくなりますので、チャレンジする気持ちを大事にして、継続して、計画的に学習するように努めてください。

・１月２０日（日）「全商情報処理検定試験」８５０人受験
　１級ビジネス情報部門４１８人、１級プログラミング部門６９人
　２級ビジネス情報部門２８３人、２級プログラミング部門８０人
・１月２５日（金）「公益財団法人日本英語検定協会　実用英語技能検定試験」９２人受験
　２級４９人、準２級４３人
・１月２７日（日）「全商簿記実務検定試験」１，１１２人受験
　１級会計５０８人、１級原価計算２７６人、２級３２８人
・２月３日（日）「全商商業経済検定試験」１，３１５人受験
　ビジネス基礎３６９人、マーケティング４１１人、経済活動と法１１５人、ビジネス経済Ａ４２０人、ビジネス経済Ｂ４５人

(写真上:1/31(木)全商商業経済検定試験朝課外　下:2/3(日)検定試験開始時刻まで控え室で熱心に自習)

◆センター試験、３年生頑張る。

１月１９日（土）２０日（日）の両日、大学入試センター試験が実施され３年生３２人が受験しました。本校は熊本大学が試験会場となり、大学の駐車場には高校名が書かれた貸し切りバスが並び、試験の合い間には大勢の受験者が行き交っていました。熊商生は緊張しながらも地歴・公民、国語、外国語、数学、理科、簿記・会計の試験に挑んだことと思います。控え室として利用した食堂では問題集を広げたり、昼食を取ったりして試験開始時刻までの時間を過ごしていました。皆さんのこれまでの努力は今後の進路や大学での学業生活に生かされると思っています。お疲れ様でした。

◆３年生が来なくなった学校

２月６日（水）、朝のＳＨＲ後に教室を見て回ると、３年生は２月から自宅学習となり２階の９クラスの教室は生徒の私物が持ち帰られ、きれいに片付けられていました。生徒たちは就職や上級学校進学前の日々を有意義に過ごしていることでしょう。３階の２年生のフロアに上がると、廊下も教室も賑やかな光景でした。お腹が減っているのか、大きな弁当箱を広げている男子生徒、おにぎりを頬張っている女子生徒、友人たちとの会話も楽しんでいるようでした。３学期は２年生の０（ゼロ）学期です。次は２年生が熊商をさらに活気あふれる学校へと盛り上げてくれることを期待しています。

◆課題研究成果発表会



１月１６日（水）５、６限目に、体育館で３年生が履修した課題研究成果発表会が開催され２、３年生が集まりました（右写真）。３年生は一年間の研究成果について１１の講座ごとにパワーポイントを使って説明し、２年生は来年度の研究テーマ選択の資料とします。「起業家育成講座」「ビジネスマナー講座」「地域活性化プログラム」等、興味深い学習内容の発表でした。